



芳川小学校のスクールファーム



令和5年7月1日 現在
総世帯数 8,189世帯
総人口 17,396人
男 8,686人
女 8,710人

**芳川地区
地域づくりセンター**
☎58-2034

芳川出張所
☎58-2034

芳川公民館
☎58-2034

芳川福祉ひろば
☎57-0168

※芳川地区地域づくりセンター、芳川出張所、芳川公民館へのご連絡は同じ番号となります。

緑化推進協議会総会・植栽

「花いっぱい運動発祥の地・松本」芳川の担い手は、緑化推進協議会の皆さん。総会が開かれた6月10日、各町会の担当者や地域づくりセンター職員計10名で、芳川体育館南の花壇にコリウスや日々草など4種類の草花を植えました。公民館にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



芳川小学校伝統のスクールファームでは、3年生が加工用トマト、4年生が筍(ほうき)、5年生がお米づくりにチャレンジしています。今回、4年生は筍草の種を専用の機械を使って、一人ひとりで順番にまきました。5年生は、自分たちが足で泥をこねた田んぼに入つての、待ちに待った田植えとなりました。あいにくの雨に子どもたちは「冷たい」と叫びながらも、カッパを着て、一生懸命植えました。今から収穫の 때가待ち遠しいですね。



地域農業応援企画「農業体験」が始まりました

芳川の魅力の一つが住宅地と農地の調和。一歩進めて、農業体験と地域の皆さんとの交流の場を提供しようという、地域農業応援企画「農業体験」の初回が6月3日、開催されました。



今回のメニューは、J・A、芳川営農の皆さんによる農業の話、トウモロコシと稲の生育状況の観察、そして参加した子どもたちにも大人気だった「農業用トラクターの試乗」と盛りだくさん。芳川米で作った「ごま塩むすび」も堪能しました。

松本市多世代交流型子育て支援施設「あんさんぶる」オープン!!



「こどもプラザ」と「福祉ひろば」の機能を併せ持つ松本市初の施設が7月12日(水)、イオンタウン松本村井2階にオープンしました。



詳しくは次号で!!



7月2日、日曜日、オープン参加方式になった、第46回芳川地区体育大会(よしかわスポーツひろば)が開催されました。勝負よりも親睦を深めようと、野球、バレーボール、卓球、ゲートボール、マレットゴルフ、硬式テニス、ニュースポーツに約200人が参加しました。ソフトボールは、あいにくグラウンドの状態が悪く、中止となりました。南部屋内運動場では、クツブと呼ばれる木片を倒すゲームなどが行われ、木と木がぶつかる心地よい音が場内に響いていました。

よしかわ スポーツひろば



芳川の今昔物語



第42話

未舗装の

国道19号線

村田 正幸

その昔.....

国道19号線はまだ未舗装で、車の往来もまばらだった。その脇を流れる川は、村から流れて来ていた。

水の少なかつた芳川では、川の水は大切に扱われた生活用水でもあった。

現在は.....



撮影:1950年代



撮影:2023.7.3 (美芳町信号機附近から南を臨む)

美芳町の信号機の近くで、現在の芳川用水125号は国道の東側で暗渠になっており、歩道になっている。所々にマンホールが設置されている。この周辺は道路が整備されて新しい街並みになり、交通量も増えている。

Vol.7

村井駅舎 ただ今建設中



前号から比べ、カタチになってきました。ホームを跨ぐ渡り廊下もシルエツトがわかり、完成予想パースに近づいてきました。安全に工事が進みますように！



たちばなし

5月より新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類感染症へ引き下げられ、お祭りやスポーツ大会などが動員制限も無く各地で盛んに開催される事となりました。併せて参加者・見物客共に過去最高となった行事もあるそうです。寄り合いや会合、会食も増え、今後各種行事も活発化され様々な期待がもたれると感じます。

また、国内はもとより海外からの観光客もたくさん松本へ来られ、各観光地も大変な賑わいをみせているようすが、地方都市、業種によつては厳しい現状もあるようです。生産年齢人口の減少に関しては都会より地方都市に影響が出易く、新たな人材の獲得をはじめキャッシュレス決済、外国語対応などの課題もあり、都会のようなスピードで整備していくのは困難です。しかし、そこを逆手に取り、昔ながらの地方の良さを推す地域が魅力的となり、都会とは違った環境や楽しみ方を発信できる気がします。今後の各地方都市に注目です。